

平30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | | | |
|---------------|--|--|------------|
| 事業名 | 地域の支え合いによる高齢者の生活支援、生活の足の確保・充実のための体制づくり事業 | | |
| 事業主体 (連絡先) | NPO 法人八ヶ岳南麓まちづくり会議 事務局：info@farm39.jp | | |
| 事業区分 | 保険、医療、福祉の充実に関する事業 | | |
| 事業タイプ | ソフト事業 | | |
| 総事業費 | 460,006 円 (うち支援金：) | | 368,000 円) |

事業内容

- 地域ボランティア拡充のための学習会の開催
 - ・平成30年7月29日 富士見コミュニティプラザ 田中尚輝氏講演会
「介護保険改正と地域」
 - ・平成30年12月9日富士見町民センター 石原達也氏講演
「中山間地の地域交通と地域包括ケア」
- 生活の足の確保のための情報発信
 - ・リーフレットの作成
 - ・ホームページの作成



【勉強会の様子】

【目標・ねらい】

- ①地域住民に改正介護保険制度を理解してもらい「地域の支え合い」体制の必要性を知ってもらう。
- ②住民相互の「地域の支え合い」体制の充実
- ③「生活の足」の確保・充実

事業効果

○2回の学習会の開催により、介護保険改正により「地域の支え合い」体制づくりの必要性を広く知ってもらうことができた。また、高齢者の移動の重要性、必要性も地域の人に広く知ってもらうことができた。

○社会福祉協議会や地域の NPO・市民団体との協働で学習会を開催することができた。今後のネットワークづくりに生かしていく。

○学習会とホームページの連動により、八ヶ岳おひさまサービスのボランティアスタッフの登録があった。まだ低稼働であるが、今後活動を広げていく足掛かりとなった。

※自己評価【 B 】

【理由】勉強会開催により、「地域の支え合い」体制の必要性が広く認知された。ボランティアスタッフの確保は少数に止まり、今後、活動の継続の必要がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の学習会、ホームページ・リーフレットの作成によって、高齢者の生活の足の必要性が広く認知された。今後、ボランティアスタッフを増やし地域の「生活の足」の拡充に努める。また、今回連携した団体とネットワークを構築し、高齢者がいつまでも地域で安心して生活できる体制づくりに努めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある